

健福短大だより

特集:

入学案内-学生生活と介護の仕事

創刊準備号

2005年11月30日 発行

大阪健康福祉短期大学

背景、第3号棟工事現場

選んだ君を後悔させない！

介護は魅力ある仕事

平井桃子（介護福祉学科Ⅰ部 2年）

現在、第3段階の実習中です。介護福祉士をめざして実習を重ねるごとに、この仕事のやりがいを痛感します。

全く話をせずに一日を過ごしていた高齢者の利用者さんがいたのですが、少しずつねばり強く話しかけていって、ある日、その利用者さんが私の方を向いてしゃべってくれた時は、とても感激しました。自分のしたことの意味が直接利用者さんから返ってくるのが、介護の仕事の魅力だと思います。

介護の仕事は、自分が関わることで、利用者さんの表情やしぐさが変わり、行動に変化がでてくることがわかります。もう、就職先も決まりましたが、卒業まで、介護という仕事をするこの意味をもっともっと深めていきたいと思っています。



それに、大阪健康福祉短期大学に入学したことも、とても良かったと思います。先生方は、「介護福祉士とはこうあるべき」という型に私たちをはめ込むのではなく、自分で考えて判断することを尊重しながら指導してくれます。将来、介護の仕事につきたいなあと思っている方には、ぜひ、短大をお勧めします。



大阪健康福祉短期大学 〒590-0014 大阪府堺市田出井町 2-8

Tel: 072-226-6625 Fax: 072-223-1301

e-mail: info@kenko-fukushi.ac.jp <http://www.kenko-fukushi.ac.jp/>

やっぱり介護福祉士になりたい

東野朋子（介護福祉学科Ⅰ部 2年）

私は、一度、介護福祉士には向いていないのではないかと、とても悩んだことがありました。そんな私に「やっぱり介護福祉士になりたい」ともう一度決意させてくれたのは、実習中のある高齢者との関わりでした。その方は、なかなか食事をされない方で、何を食べたいかも話してくれませんでした。それでも、一生懸命その人の表情を見て、食事の好き嫌いをアイコンタクトで感じながら、互いの表情を交わらせていきました。そうしたら、笑ってくれたんです。すごく、うれしかったです。そして、何が食べたいか、話してくれるようになりました。

そんな経験をつむと、本当に人間っていいなあと思います。人と関わる仕事こそ、働きがいのある仕事ではないかと思って、今、第三段階実習に励んでいます。



人と関わる仕事がしたい

田上貴子（介護福祉学科Ⅰ部 2年）



将来、どんな仕事に就こうか、考えたとき、モノをつくる仕事ではなく、人と関わる仕事がしたいと考えて、介護福祉士の資格が取れるこの短大に入りました。短大では、直接的な介護の方法以外にも、いろいろな勉強をして、私たちの視野を広げてくれます。視野が狭いと、人と関わることはなかなかむずかしいのだと思います。

工場でモノをつくってもつくったモノは何も変化しませんが、介護は関わりつづけることで利用者さんが確実に変化していきます。目の不自由な方とのコンタクトは、肩や背中にタッチしたりさすったりしながら信頼関係を築いていきます。私の関わった利用者さんも、そうして

いくなかで、私の手を握ってほほえんでくれるようになりました。「やったあ！」という気持ちがあふれてきて、本当にうれしかったです。

II 部学生からのメッセージ



長谷優加理（介護福祉学科Ⅱ部 3年）

私は今 28 歳で、現在はヘルパーをしています。

高校卒業後、事務職を経て福祉の世界にきました。きっかけは、デスクワークに馴染めなかったことと、勤めていた会社で事業縮小がありリストラで職を失ったことです。それを機に、心機一転ヘルパーの資格を取りました。

ヘルパーの仕事を始めると、今までにない楽しさや、やりがいを感じました。例えば、利用者に対して自分の責任で考え行動しすぐに結果が分かるので、やりがいを感じたり、利用者との信頼関係が生まれ、

利用者の笑顔が間近で見られたりするの楽しいです。

しかし、ヘルパー業務をする上で福祉職の専門性を考えると、とても奥が深く経験だけではカバーできないことがあると思います。実際援助を行う上で、考え方や知識がしっかりしていないと、流される部分があると思うのです。そういった面で、勉強をしながら援助をしていくということは、必要不可欠だと思います。

そういうわけで勉強は大切だと思うのですが、実際に勉強していくには、色々な方法があります。その選択肢の一つに、大学へ通うという方法があり、私はそれを選びました。学費の問題等がありましたが、勉強することを一度真剣にしてみたいと思い、家族に頼み込んで、今の大学の夜間に通うようになりました。

働きながら学ぶ楽しさ

昼間ヘルパーの仕事をしながら、夜は大学で勉強をしているので、しんどくなる時もあります。しかし、学問をすることにより、自分の可能性が広がってきたと思います。看護と介護の違いを学んだり、福祉が目指さなければならないことを学んだり、また色々な科目を学ぶことにより、今まで良く分からなかったことが、理解でき把握することが出来るようになりました。そして、考える力がつき、学ぶ姿勢もつきました。また、この大学の特徴は、教養科目が重視されていることもあり、文学を学び人の心を垣間見たり、体育で思う存分体を動かしたり、幅広い面で、学ぶことの大切さを教わっていると思います。あと、大学に通って良かったことは、多くの人と知り合えたことです。クラスには、さまざまな年代の人、経験をつんできた人が集まっているので、さまざまなことを話し、自分の考え方が広がっています。

皆さんもぜひ学生生活を経験してみてください。成人してからの学生生活は、学べるところが大きいと思います。そして、楽しいです。

今なら卒業と同時に資格が取れます

高齢者とともに輝く仕事

加藤隆亮（大阪総合福祉専門学校 卒業生）

介護老人保険施設 よどの里 勤務

この仕事に就いて、8年になります。よく、「介護の仕事は大変でしょう」と言われます。けっして楽な仕事ではないし、自分が深く関わった利用者さんが亡くなられた時などは、落ち込んだりもしました。それでも、それ以上にとっても人間的でやりがいのある仕事です。介護の仕事を、一度も辞めようと思ったことはありませんし、もっと多くの方に介護の魅力を知ってもらいたいと思います。

なかなか思いを言葉にしない利用者さんの生活歴をとらえ、試行錯誤しながらも関わりつづけ、真の思いがつかめたとき、心が通じあったなあという感動がわいてきます。

高齢者の方々を、けっしてマイナスで見ないでほしいと思います。その人、その人の個性をつかみ、私たち介護福祉士は、一生懸命ケアプランをつくります。そして、生活に入らせていただきながら介護をさせていただくなかで、高齢者の方たちが生き生きと輝いてくるんです。そんなとき、私たち介護福祉士も輝いて働いているのだと思います。



人間らしく働ける日々

三田智士（大阪総合福祉専門学校 卒業生）

特別養護老人ホーム あすくの里 勤務

近畿で2番目に設立された聴覚障害者の特養で楽しく働いています。以前会社で営業職でしたが、人と関わる仕事が好きで夜間部に進学しました。ある利用者さんは普通の老人保健施設に居られましたが、手話ができる人がいなくて無気力で無表情でした。あすくの里が出来て此処に変わられ、職員はもちろん、仲間とも手話で存分に話すことができるので、表情も生き生きして笑顔が多くなりました。利用者さんの笑顔を生きがいに働いています。介護、若い職員さんの指導、デスクワークと毎日多忙です。

将来はふるさとにグループホームを

福山祐輔（大阪総合福祉専門学校 卒業生）

介護老人保健施設 みみはら 勤務

私は、大阪総合福祉専門学校Ⅱ部に通いながら、昼間は介護老人保健施設みみはらでアルバイトを続けていましたが、卒業後採用され、現在は介護福祉士として、認知症のフロアで勤務しています。

日々の勤務は決して楽なものではありませんし、懸命に介護を続けさせていただいた利用者様の訃報を耳にした時などは、本当に悲しい思いをします。しかしそんな時にも、ご家族の方から「本当に力を尽くしていただき、ありがとうございました。おかげさまで幸せな晩年を過ごさせていただきました。」といったねぎらいのお言葉をいただ

くことがあります。自分の仕事は、利用者様の幸せのみならず、ご家族様をはじめ、さまざまな方々の幸せに直結しているのだ、ということを実感します。仕事を続けていると、つい初心を忘れそうになることがあります。そんな時にも、利用者様やご家族様の言葉が、私の心を振り出しに戻してくれるのです。

もっと経験を重ねて、将来は自分の故郷である長崎県の黒島にグループホームを作りたいと考えています。過疎が進み空き家が多いので、そうした物件を利用すれば、かなわない夢ではないと思います。介護福祉士は、苦勞することも多いですが、夢も多い仕事です。



ホームヘルパーから介護福祉士へ！

Q：ホームヘルパー経験を生かして介護福祉士の資格を取得できますか？

A：もちろんです。これから、ホームヘルパーの方々には介護福祉士の資格が必至です。

現在、ホームヘルパー資格をお持ちの方も、将来的には介護福祉士の資格が必要です。国家試験制度が導入される前に、本学で介護福祉士資格を取得しましょう。本学は、ホームヘルパーの方々の入学を歓迎しています。本学では、夜間課程（3年間）がありますのでホームヘルパーの仕事を続けながら学ぶことができます。学生生活を楽しみながら、より専門的に学問的に、介護や福祉の内容を深め、将来的にも長続きする基礎を築いてみませんか。

あなたの経験を確かな資格に！

Q：ボランティア経験を生かして、介護福祉士の資格を取得できますか？

A：もちろん、できます。介護福祉士の養成課程ではボランティア経験を重視します。

高齢者施設や障害者施設でボランティアをされている方で、このような仕事に魅力を感じておられる方、ぜひ介護福祉士の資格を取得して、生涯の仕事にしてみませんか。

ボランティアをしてみて感じた福祉や介護の心を、より専門的・学問的な内容で深めていきましょう。また、ボランティアの現場では様々な矛盾を感じられたのではないのでしょうか。そのような矛盾の原因を考え、よりよい日本の福祉社会実現のために、本学でともに学びませんか。受験のこと、学生生活のこと、直接本学にご相談ください。

本学は社会人の入学を歓迎します！

Q：社会人入試には、特別な受験勉強が必要ですか？

A：いわゆる受験勉強よりも、社会人としての良識を大切にします。昨年の入試問題も公開していますので、お気軽にお問い合わせください。

小論文は、指定された文章を読んで、800字ほどの意見をまとめてもらいます。文章は、現代の社会的な事象を扱ったもので、読みやすく短いものです。大切なことは、ご自身の意見を素直に表現することです。

これから介護を学ぶ方たちですから、面接の時に介護福祉の専門的な質問をすることはありません。むしろ、介護福祉士になろうとする動機や将来の目標などを、ご自身の言葉で語っていただくことが大切です。

2006年度(2006年4月入学)入学試験のご案内

【2006年4月開設、児童福祉学科認可申請中】

- ① 募集学科・修業年限・入学定員(予定):児童福祉学科・2年・80名
- ② 選抜方法・受験資格・試験科目(予定)は、学生募集要項・ホームページをご覧ください。
- ③ 出願期間・試験日程・合格発表日(予定):

出願期間	1/30(月)~ 2/3(金)	2/6(月)~ 2/10(金)	2/13(月)~ 2/17(金)	2/20(月)~ 2/24(金)	2/27(月)~ 3/3(金)	3/6(月)~ 3/10(金)	3/13(月)~ 3/17(金)
試験日	2/4(土)	2/11(土)	2/18(土)	2/25(土)	3/4(土)	3/11(土)	3/18(土)
合格発表日	2/6(月)	2/13(月)	2/20(月)	2/27(月)	3/6(月)	3/13(月)	3/20(月)

- ④ 取得資格(予定):短期大学士・保育士・児童厚生2級指導員(児童健全育成推進財団認定資格)

【介護福祉学科Ⅰ部(昼間部)2年制】【介護福祉学科Ⅱ部(夜間部)3年制】

社会人入試・一般入試日程

出願期間	1/6(金)~ 1/17(火)	1/30(月)~ 2/14(火)	2/20(月)~ 2/28(火)	3/6(月)~ 3/10(金)	3/13(月)~ 3/17(金)
試験日	1/21(土)	2/18(土)	3/4(土)	3/11(土)	3/18(土)
合格発表日	1/26(木)	2/23(木)	3/6(月)	3/13(月)	3/20(月)

* 卒業と同時に介護福祉士(国家資格)・社会福祉主事任用資格を取得。